

アモルメット組み込み電源ボックスの導入(6)

—KOJO のタップとの置き換え(5)—

1. 始めに

[前報\(5\)](#)に引き続き、中村製作所のアモルメットを搭載した床据え置き型電源ボックス NXP-001 を既存のタップと置き換え、かつ、タップリベラメンテとシェアして試聴していきます。

2. アモルメット組み込み電源ボックスの試聴方法

前報(5)では全体に音が大人しくなりすぎる傾向がありますので、パワーリベラメンテ経由で給電する KOJO のタップのうち、次の機器の電源を取っているタップを NXP-001 と置き換え、さらに、タップリベラメンテから取っているものと入れ替えます。NXP-001 にはアナログ用取り口 4 口、デジタル用取り口 3 口がありますので、次のように配分します。

FIDATA HFAS1-S10

→アナログ用取り口

MYTEK DIGITAL 192-DSD

→アナログ用取り口

CCV-5

→アナログ用取り口

PC

→デジタル用取り口

iPurifier SPDIF 用 AC アダプター

→デジタル用取り口

ABS-7777

→デジタル用取り口

タップリベラメンテには次の配分とします。

300B シングル

DA-3000

GPS-777 (サンリッツエレクトロニクスノイズフィルター経由)

SWD-DA20 用 iPower

音源は BZT9000 の BS 録画再生として、次の機器の電源を NXP-001 から取った効果の確認となります。

MYTEK DIGITAL 192-DSD

iPurifier SPDIF

ABS-7777

CCV-5

次に、音源は FIDATA HFAS1-S10 による BRD-UT16WX からの CD 再生として、次の機器の電源を NXP-001 から取った効果の確認となります。

FIDATA HFAS1-S10

MYTEK DIGITAL 192-DSD

ABS-7777

最後にベルリンフィルデジタルコンサートの再生で、次の機器の電源を NXP-001 から取った効果の確認となります。

MYTEK DIGITAL 192-DSD

PC

ABS-7777

その他の機器についての効果も知りたいところですが、まずは聴く機会の多い上記を選定しました。

3. アモルメット組み込み電源ボックスの試聴結果

BZT9000 の BS 録画再生では、前報(5)で大人しくなりすぎたところが是正されて、躍動感が出てきます。

FIDATA HFAS1-S10 による BRD-UT16WX からの CD 再生では、前報(5)で大人しくなりすぎたところが是正されて、音に彫りの深さが戻ってきます。

ベルリンフィルデジタルコンサートの再生では、前報(5)で大人しくなりすぎたところが是正されて、ホールの間接音が豊かになり、立体感が出てきます。

4. まとめ

前報(5)の傾向が是正されました。前報(2)から本報までをまとめますと、次のようになります。

前報(2) から前報(4)までは、いずれもパワーリベラメンテ経由で給電する KOJO のタップを NXP-001 と置き換えたものですが、例外なく音質の向上が見られました。

前報(5) から本報までは、前報(4)の配分から NXP-001 とタップリベラメンテとの間で機器の電源をシェアしつつ最適な配分を試みたものですが、NXP-001 がタップリベラメンテより、常に良くなるということではなく、それぞれの個性があって、それぞれに見合った配分にすることが良さそうです。

なお、NXP-001 はコンパクトな仕上がりになっていて、取り口の間隔がせまく、電源ケーブルの差し込み口や AC アダプターのサイズによって、希望の選択ができない問題がありますので、改善を要望したいところです。

以上